

連載

株式評論家 山本伸一の

兜町スタンダード

暴落多発の「10月相場」に備えよ！



2週連続の3連休、そしてFOMC開催と、前回コラムでは「買い難い相場」表現した9月中旬以降の株式相場。日経平均株価は終値ベースで年初来安値を更新するなど、想定通りに全体観を傾け難い局面となった。

そして、買い難い相場でこそ狙える「低位材料株」や「バイオ関連」を対象とした「厳選銘柄付き緊急市況レポート」では、注目銘柄として取り上げたレオパレス21（8848）、ジーエヌアイグループ（2160）が人気化。購読者からは的確な市況分析を高く評価して頂いた。

9月末といえは、3月通期の折り返し地点となる中間期末となるわけで、配当権利取り物色やドレッシング買いが下支える期待はあるものの、翌月の「月相場」と言えば、「ブラックマンデー」「アメリカ発世界金融危機」など「株価暴落」が発生するイメージが強い。さらに円高基調の今年は、業績予想の下方修正リスクも上昇中、波乱発生の可能性は高いのではないか。

そこで弊社では、足元での不安定な外部要因を踏まえ、空売り戦略を対象とした「厳選銘柄付き緊急市況レポート」を発売することにした。過去にも秋相場で投入し、好結果を残した実績テーマでもある。厳選銘柄やレポートに興味を持たれた方は、弊社に直接問い合わせしてほしい。